

## 平成 25 年度 第 2 回議会報告会議事録（要約）

平成 25 年 11 月 9 日（土）午後 7 時開会  
滝野会場：滝野公民館 2 階多目的室

開会 19 : 00

◎ 開会のあいさつ・・・司会（安田議員）

### ・・・第 1 部 《議会報告》・・・

◎平成 24 年度決算の報告（平成 24 年度施策の成果）

### ・・・質疑応答・・・

◇ 意見 このような議会報告会は有意義であり今後も続けて欲しいが、参加者が少ないのが残念だ。議員も議員の支持者に対して報告会に参加要請をされたいかがかと一般論として申し上げておく。

○【問】 新聞紙上では加東市の決算は黒字だが、加東市の場合は、市町村合併により交付金等が優遇されており、実質はそんな黒字ではないと聞いたことがあるが、合併特例債との関係も含めて、加東市の実際の財政状況は健全なのかどうなのか説明願いたい。

●【答】 加東市の地方債現在高は、平成 23 年度と比較して 3 億 4,000 万円程度増えているが、これは新庁舎建設に係るものである。  
合併した時の借金総額は約 200 億円あったが、合併後 7 年間で約 30 億円減らしており、合併特例債で借金は増えていない。  
また、市の収入に対する借金返済に充てる割合を示す実質公債費比率も、平成 23 年度から 3.4 ポイント減っている。  
ご質問の「財政は健全か？」については、基金も増えており加東市の財政状況は確実に良くなっている、とお答えする。

○【問】 市が投資した（仕組み債）件の状況はどうか？

●【答】 当初は 9 億 3,000 万円を運用していたが、円安の影響でほとんどが償還済みとなったが、今解約すると条件が悪くなる米ドル為替の債権 1 億円が残っている状況である。

◇ 意見 防犯上、通学路が青色防犯灯になったことは評価したい。

◇ 意見 報告会資料に、観光事業費が1,500万円の内、夏まつり補助金が1,250万円ある。このような内輪の遊び的なものに支出するのではなく、加東市の成長産業の観光に外部から呼び込むような施策に予算を使うべきだ。  
また、「議会だより」の議案の採決結果が賛成ばかりだ。これは、加東市議会はオール与党の印象がある。果たしてこれでいいのかとの感想を持っている。

○【問】 企業立地促進事業の奨励金は必要なのか？

●【答】 雇用の確保や税収の観点から市内に進出してもらうためには、奨励金の交付は必要であると認識している。

○【問】 このような奨励金制度は、旧滝野町時代は無かったのではないか。市が合併してからできた制度ではないか。

●【答】 旧東条町時代は、南山インターパークに進出した企業には交付していたが、旧滝野町時代のことは承知していない。

○【問】 滝野工業団地には早くから入って（操業）いた企業があるが、奨励金は出していない。旧滝野町時代は無かった制度が、なぜ、市になってからできたのか、その必要性について疑問である。

このように、滝野地域の議員が出席していないので答えられないだろう。だから、（報告会への）出席議員の半数は地元の議員を出席させ、疑問に答えられるように改革すべきだ。

●【答】 今回の3会場同時開催は初めての試みであり、貴重なご意見としてお聞きしておき、今後の議会報告会のやり方の参考にしたい。

○【問】 企業立地促進事業の奨励金の内容は？

●【答】 進出企業に対して、建物と機械に係る固定資産税分の1/2を限度を奨励金として交付するものである。期間は3年間である。

奨励金制度、助成金制度は自治体によってその方法は様々である。

第1部終了 19 : 38

．．．．《第 2 部 「地域の課題について」》．．．．

．．．質疑応答、提言、要望．．．

○【問】 加古川河川整備計画について関心があり、地元選出の議員がいると思って来た。

現在、滝見橋の関連の事業が進んでいるが、加古川河川整備は、国の事業であるため、市議会や市へ問うてもどうにもならないと思うが、加古川は今年もかなり増水した。そういう事もあり、一刻も早く工事を進めていただきたい。

平成 26 年度は下滝野地区、27 年度は上滝野地区から工事が開始されるようなことを噂で聞いているが、そのような情報を川べりに住んでいる住民へ知らせて欲しい。

また、上流のダムを放流する時に、西脇市の親戚からその連絡を聞くが、その情報は西脇市から来るそうである。なぜ、加東市はそのような情報を市民に教えてくれないのか。市は、そのような情報を早く知らせて欲しい。

●【答】 加古川河川整備計画についての地元説明会は、平成 24 年 2 月と 25 年 2 月の 2 度にわたり開催されてきた。議会として報告を受けているのも、その説明会での市の説明内容と同じである。それ以外では、関連する地区の地権者数等の報告はあったが、整備計画等の新しい報告等は受けていない。

（防災の）音の放送が無いとのことだが、滝野地域は、社地域、東条地域とケーブルテレビのシステムが異なっており、今後、滝野地域でも音が出るような音声告知放送受信機器を整備する予定である。今年の 12 月から来年 1 月にかけて地元説明会を行い、来年 8 月から音声告知放送サービスを開始する予定だ。そうすれば、加古川の水位情報や避難情報などが流れることになる。また、将来的には防災無線と併用になる。

○【問】 音声告知放送サービスの整備はありがたいが、避難方法など具体的なマニュアル等は整備されているのか。

●【答】 避難基準や避難所などの詳細は、加東市地域防災計画で整備されている。マニュアルはあるが、災害時はマニュアル通りにいかないため、ケースバイケースで個別の対応も重要であると考えます。

◇意見

ケーブルテレビのケイ・オプティコムサービスへの切り替えだが、インターネットやテレビの関係で市民の負担は増す。しかもテレビ大阪も見られなくなる。これについて議会はどのように対応されているのか。新聞で、国の無駄遣いで違反行為との記事があった。今回の光ケーブルへの移行も同様だ。手順が間違っている。事前に話を出しておいて地元住民が賛同したものであれば、光回線に切り替えるというのが正しい手順ではないか。しかし、光回線の工事はもう終わっている。これは先行主義である。住民の意見も聞かず先行している。このようなやり方は正しくないと思う。このような思いが住民からの提案としてあったと、市の方へ意見を述べてもらいたい。

- 【答】 今後 10 年スパンで投資する維持費等の金額や、インターネットの速度等の環境整備の必要性などから、将来的には値上げも検討しなければならない状況である。

この際、民間が整備する光回線に乗った方がコスト的に安くなるとの判断で、今回の方針決定に至ったと報告を受けている。

◇意見

インターネットの速度等の環境整備等は理屈である。性能の高いパソコンであれば問題ない。住民に対する説明が後先になっている。

市は、光回線を整備したから住民の意見も聞かず、強制的に高い利用料の新サービスに加入させようとしているように感じる。

- 【答】 先ほどお答えしたのと同様の内容で、地元の説明に伺うと報告を受けているが、今日の意見も要望としてお受けしておく。

◇意見

「議会だより」を見ると、議員全員で武雄市に視察に行っている。あの武雄市長は病院や図書館の民営化を実行したやり手で素晴らしい方だ。

私は加東市の無風状態を心配していたが、そのような市に議員が視察に行かれたことは評価したい。武雄市へ勉強に行かれたその視線で、加東市政を見て欲しい。

- 【問】 武雄市への視察へは市の幹部も行ったのか。

加東市長が武雄市長と膝を付き合わせ、教えを請うようなことはしないのか。

- 【答】 今回の視察では、安田市長と教育部長、病院事務局長が同行した。

この視察は加東市議会の行政視察であり、加東市長が先方の市長と会談するようなものではない。

◇意見

加東市の指定管理者制度について疑問がある。指定管理者制度は「官」から「民」への理念からできた。しかし、加東市の場合、指定管理者は社会福祉協議会が多いが、社協は「民間」という点で、現在の管理者制度でいいのかとの疑問がある。指定管理者の選定でも、価格が安い事業者でも、総合評価において市の意見が入って既得権が守られており、新しい事業者が入れないとの声を聞く。

具体的には、「とどろき荘」は最近、入浴時間等の制限等で宿泊しにくいとの話を聞く。とどろき荘（周辺？）には大きなグラウンドがあり、大学等のクラブが、とどろき荘を貸し切って長期の合宿に利用したりできるように、外へ向かってPRすべきだ。

夏まつりの件もそうだが、今後は、市政も競争原理を働かせないといけないと思う。加東市の場合、市と市会議員が仲良しクラブ的で競争原理が働いていないような気がする。

私は、行財政改革推進委員を努め、まちづくりで様々な意見や提言をしてきたが、全て排除されてきた。積極的で前向きな意見や提案をしても、市は「難しいことは言わなくていいんだ。仲良しでいいんだ。」というような風潮になっているのではと感じる。

議会としても、各種（市民）委員の人選については厳しい目で見て欲しい。加東市は、仲良しクラブ的で、既得権益を守り、新規事業者が参入しにくい、意見が通りにくいようになっているように感じる。

議会の武雄市への視察は評価するが、市の当局者もその気になってもらうようにプレッシャーをかけて欲しい。

指定管理者の事業者選定時は、競争原理が働き、市民生活が良くなりそしてコストも下がるようなチェック機能を働かせるよう要望しておく。

◇意見

加古川河川整備計画について報告を聴きに来た。先ほど、地元説明会が2回開催されたと言われたが、残年ながら2回とも参加出来なかった。今日は、その内容を詳しく聞いたかったのだが、サーッと流されてしまった。その説明会ではかなり詳しいことがなされて、上滝野で地権者50名とのことだが、私がその中に入っているのかどうかを聞いたかった。多分、私みたいな何も知らない（知らされていない？）住民もいると思う。新聞にかなり具体的な数字が載っていた。それを見て、かなり川の近くに住む私が対象になってい

るのかわからない。市や国から何らかの連絡があるのではと待っていたが、連絡もないので、今日の議会報告会を知って何らかの話があると思い来た。

◇意見

加古川河川整備計画の説明を聞いているのは、滝見橋周辺の少数である。私は 50 人の地権者の中に入っており平成 27 年度に説明があると聞いているが、それでは遅い。

滝見橋の近所から出ている議員に参加して欲しかった。

先ほどの方のように、自分の家が対象になっているのか、いないのかわからない人は不安になる。また、実際に対象となっているのに、まだ詳しい説明も受けていない。

加古川は、今回も床下浸水になるほど増水したし、不安だ。

議会が「それ以上の説明は聞いていない。」と言われれば仕方ないが、国へ議会からも市からも「実際に住んでいる住民に早く説明をしろ。」と言って欲しい。

- 【答】 滝見橋周辺地区説明会は、15 人の住民の参加で行ったとの報告を受けている。それ以上については、議会も報告は受けていない。仮に地元地区の議員 2 人がこの場にも、それ以上の説明はできないと思う。

◇意見

この場にその 2 人の議員が居て欲しい。この場に居ないのはおかしい。このような課題があるのに、地元の議員が居ないのは議会が変に誤解される。地元の議員の半数は出席すべきだ。地元議員が出席することで円滑に進むのではないか。でないと、何かもみ消そうとしているように感じる。

- 【答】 議会報告会は、地元の議員は出席しないことで申し合わせている。議員の配置については、貴重なご意見としてお聞きしておく。今回の配置については議会として変な意図があるのでないことだけは、ご理解いただきたい。

◇意見

まちの活性化についてだが、私が住む地区は全てが調整区域である。

土地の活用からすれば調整区域がきついつと感じる。加東市は環境も非常に良いのに人口が増えないのは、調整区域の歯止めが厳しいからではないか。まちづくりの観点から、調整区域でも市レベルで転用等ができて家が建て易くするとか、新しい事業とかできないのか。例えば（多可町の）八千代みたいな別荘村みたいに、市をあげて外部から人を呼び込むようなことができないだろうか。このままだったら人が段々と減少していくのではないかと思う。加東市の将来の発展のために「成長戦略」を市と議会とで考えて欲しいと提案する。

- 【答】 議会でも定住促進、人口流入を提案している。その中で、特別指定区域という制度があり、地縁者で 10 年以上居住するなどの条件はあるが調整区域でも

住宅が建てられる制度があり、これまでに 28 戸が建設されている。

○【問】 この制度の窓口はどこ部署か。

●【答】 建設部都市整備課である。

市のホームページでも該当地区やその範囲など詳細が載っている。

◇意見

この制度については平成 20 年ころに回覧板で回ってきた覚えがある。

これについて感心のある方は意見(?)を書いてくれとのこと書いたが、後日説明会があるような内容だったが、それ以来何ら返事が無い。

先ほどの加古川整備計画の説明と同じで、市のフォローが無いように感じる。

●【答】 調整区域でも住宅が建てられる特別指定区域の制度はいい制度なので、市の広報やケーブルテレビなどの媒体を使って広報活動を充実し、市民の皆さんにお知らせするよう提言している。

◎ 閉会のあいさつ・・・司会（安田議員）

午後 8 時 35 分終了